

2 学年、社会科で休校中に学習しておいてほしい内容

復習、4/17までには終わっているはず？ 1 学年 3 月までの内容

- ・歴史ワークの残り。P97～111「第4章近世の日本、1 節ヨーロッパ人との出会いと全国統一」
- ・地理教科書、オセアニアまでの内容

⇒登校日(あれば)や休校明けに単元テストができるように、ワークなどを使って準備しておく。

予習 2 学年 4 月からの内容 4/10に出た課題が多かったため、余裕を持たせました。

※「時差」の内容は難しいので後で詳しく扱う予定です。

学習のやり方 教科書を読んだり、動画をみたりして内容をつかむ。教科書を見ながらワーク(新しい2年生のワーク「社会の自主学習 地理2」をこのプリントと一緒に届けます。)やプリント、パソコンなどで問題を解く。できる人はその単元の学習課題について、教科書や資料などをもとに自分なりに課題の答えを考える。

⇒登校日(あれば)や休校明けに単元テストができるように、ワークなどを使って準備しておく。

学習の期限 (めやす)	地理教科書の単元 第2部日本のさまざまな地域	教科書ページ	ワーク 「社会の自主学習」
4/17 (金) (4/10に出た課題)	第1章 日本の姿	P119~131	1年・2年両方のワークに入っています。(余裕のある人は両方やる)
5/1 (金) (4/10に出た課題)	第2章世界と比べた日本の特色 1 節 自然環境の特色	P132~149	
5/7 (火)	2 節 人口の特色	P150~153	地理2 (2年のもの) P14・15
休校がのびたら	3 節 資源や産業の特色	P154~163	P16~19
	4 節 地域間の結びつきの特色	P164~166	P20~27

ネット環境があれば、利用しやすい教材(教科書・ワークでできる人はそれでもいいです。)

- ①チャレンジなど通信教材などを取っている人は、それを利用するのもいいです。Youtubeにも授業の動画があります。
- ②LINEの「新型コロナウイルス休校サポート LINE 未来財団」にも「休校学習サポート」として各教科の授業動画が公開されています。
- ③「文科省」の「子どもの学び応援サイト」(以下に説明をのせます)。



←検索してこの画面を開きます。

・この画面の下に中学校の内容につながるところがあります。

・中学校をクリック

・学習したい教科を選ぶ
(社会の場合は社会をクリック)

「子どもの学び応援サイト」(2) 社会の内容

<活用できるリンク集>

- [あいうで学ぼう！NHK for School\(NHK\)](#)
スマートフォン向けアプリあり
- [おすすめギブスサイト一覧 社会\(一般社団法人教科書協会\)](#)
- [EduTownSDGs\(東京書籍株式会社\)](#) ←発題的、3年生で学習する「持続可能な社会」(環境など)に関する内容です。自分たちができることについて、考えてみるとおもしろいです。
- [EduTownエデュタウン\(東京書籍株式会社\)](#)
- [児童生使用の学習支援コンテンツの紹介\(教育出版\)](#)
新型コロナウイルス感染症対策による休校時、児童生徒が自学自習に活用できる学習支援コンテンツをまとめています。
- [e-board](#) ←**おすすめ。クイズ形式でクリックしながら問題を解いていけるので、苦手な人でも抵抗なくできそうです。**
e-board(イーボード)は、約2,500本の映像授業と7,000問以上のデジタルドリルで学習ができるオンライン学習教材です。OSやブラウザを問わず、教室やご家庭からご利用できます。個人や公立学校、非営利団体では無償でのご利用が可能です。
- [自宅学習教材公開特設ページ\(Z会\)](#)
株式会社Z会は、休校中の全国の児童生徒の学びをサポートするために一部教材を無料で提供しています。各学年・科目の教材を、Z会の受講有無を問わず、どなたでも登録不要でダウンロードし、活用いただけます。
- [キッズ外務省\(外務省\)](#)
世界の国々や外交の仕事などを子供向けに紹介しています。
- [授業動画\(文芸春秋\)](#)
文芸春秋では、家庭学習を支援するための授業動画を公開しています。使用している教科書は、東京書籍のものです
- [小学校・中学校向け社会科学習ワークシート\(帝国書院\)](#) ←**地理のおもしろいプリントがあります。**
地図帳を参考にしながら作業ができるワークシートです。
- [臨時休業期間における児童生使用コンテンツの紹介\(日本文教出版\)](#) ←**小テストの問題があるので、プリントアウトすれば何回でもできます。**
- [京大教育大学公式YouTube: kyoivocchannel](#)

(3) 数学

- ・確認したところ「e-board」というのがおすすめです。動画も有り、パソコンで回答していけるので、苦手な人でもやりやすいと思います。
- ・ワークだけでなくさらに問題を解く場合は、下から2番目の「日本文教出版」の小テストは問題数が少なくてやりやすいです。

← 「e-board」の画面

- ・左の番号をクリックすると選択式の問題が出てきて選んだ後オレンジの「答え合わせ」を選ぶ。
- ・「ヒント」を選ぶと授業動画が見られます。